

授業改善協議会 9/15



自主公開研究会6/26



教科別実践報告会8/16

中津市立東中津中学校

(1) 本校(授業)の課題

教師

- ・年齢バランス 20(6)30(2)40(2)50(8)
 - ・教師主体、課題・まとめの不一致
- 若手の育成、教師の指導力向上

子ども

- ・教師主導の生徒会活動
 - ・受動的な姿勢、深まらない交流学习
- 自己肯定感 全国 -9.7p 挑戦全国 -6.3p

組織

- ・教科担任まかせの授業・教科による研究の差
 - ・教務主任、研究主任の提案が浸透しない
 - ・運営委員会の決定が徹底しない
- システム化、ベクトルの一致

(2) 今年度の重点目標と組織・運営

2つの重点目標

- ・学習指導の充実（授業改善）

研究と日々の授業をリンクし、
わかる・できるの実感できる授業

- ・積極的な生徒指導の推進

「東中宣言」を基軸にし、生徒会自治の力、心の成長

短期
P
D
C
A

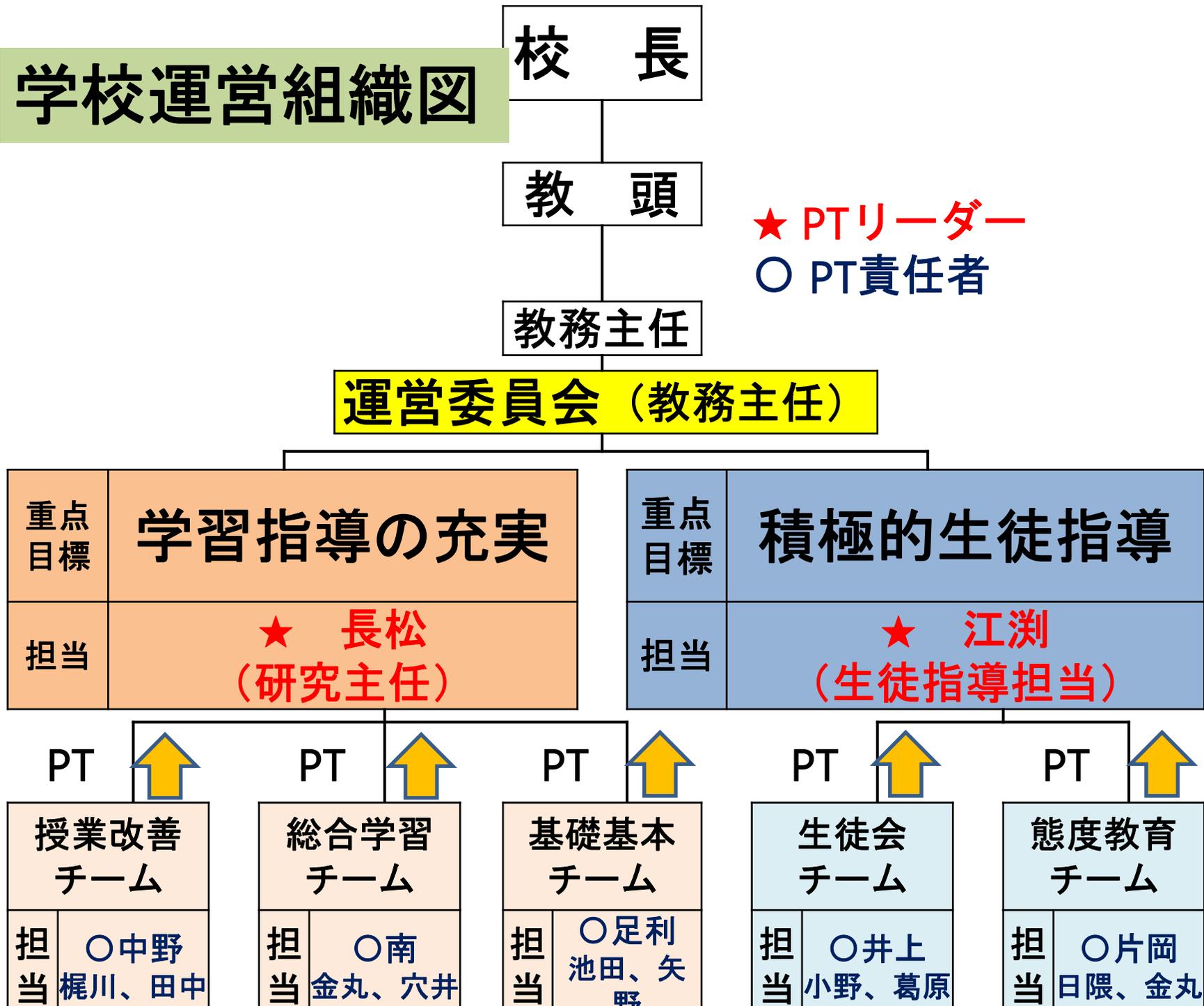
組織・運営

- ・運営委員会からの徹底
- ・PTチームの活用

学校評価4点(授業改善)のPDCA (年間7期)

4月		第1期	始業式～生徒総会
5月	中旬	第2期	～第1回自主公開授業研究会6/26
6月	下旬		
7月	下旬	第3期	～教科別実践発表会8/16
8月			年間プラン(2・3学期)の修正
9月		第4期	～第2回自主公開授業研究会10/27
10月	下旬		
11月		第5期	～学校評価の分析(生徒・保護者)
12月	中旬		
1月		第6期	～第3回自主公開授業研究会1/26
2月	上旬	第7期	～修了式・来年度の原案作成
3月	下旬		

学校運営組織図



一人一人の教員が、東中の教育を支える

各種会議

水曜：ノ一部活デー・ノ一残業デー

- ・第1水曜日 職員会議、PT会議
- ・第2・第4水曜日 全体研修(研究)、教科部会
- ・第3水曜日 学年会議、PT会議
- ・毎週火曜日(放課後) 運営委員会

教科部会	「相談、切磋琢磨」	
国語	金曜日	5限
社会	水曜日	5限
数学	月曜日	放課後
理科	木曜日	放課後
英語	木曜日	2限

学校評価4点セット(年間)

重点目標		達成指標		重点的取組	取組指標
学習指導の充実	授業改善の推進	授業評価において、「授業の内容を十分に理解する」生徒の70%以上	学校	①東中スタンダードに基づいた授業実践の徹底 ②活用力の向上を目的とした授業実践の推進	○授業者は1時間完結型の授業において「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を明確にした授業を毎回実践する。 ○生徒による授業評価を定期的実施。授業の振り返りは記述で行い、それを教科部会で分析する。 ○教科部会を毎週1回程度実施し、単元ごとに活用力を高める指導の計画を立てる。 ○教科部会内での互見授業を計画的に実施する。 ○教科ごとに定期的に(最低学期に1回)授業アンケートを行い、その結果を短期授業改善計画に反映させる。 ○校内研究を軸にした年間3回の自主公開授業研究に取り組む。
		授業評価において、「楽しく学ぶことができた」生徒の80%以上			



プロジェクト会議は月2
回開催され、4点セット
の検証・改善が行われる。



プロジェクトリーダーを中心とした、短期の取組の見直しのための会議

(3) 改善の方向性

- ① 生徒による授業評価 → 教員と生徒で授業作り
- ② 教科を越えた授業改善 → 教科部会の交流

昨年度

今年度の改善

授業改善について

主体的に取り組める課題
生徒による「振り返り」
必然性のある交流学习



学習意欲が持続する探求的な課題
生徒が学びを自覚する振り返り
効果的な協同学習

組織・体制について

教科担当「タテ持ち」
教科部会の実施
教科の壁、深まりの違い



教科ごとの体制・工夫
教科部会の充実(回数・報告)
運営委員会の検証・改善

研究主題

仲間と関わりながら、自ら学びに向かう生徒の育成

校内研究体制 (主な主任のミッション)

教務主任

・学校評価4点セットによる検証・改善のため、PTリーダー会を2週間ごとに実施し、PTリーダーに運営委員会で進捗状況を報告させる。

学習指導(授業改善)PT

研究主任

PTリーダーとして、「授業改善」「総合学習」「基礎基本」のPT責任者と2週に1回、活動内容や進捗状況とその検証方法について協議する。

全体研修



教科部会

全教員の授業力向上

(4) 授業改善の組織的な取組 1

① 教科の「タテ持ち」と 教科部会

ア、教科の「タテ持ち」と「TT半数」 (◎教科主任、上が主)

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	○◎○	○○○	◎◎◎ ○○○	○○○	○○○
2年生	●◎● ○○○	◎○◎	○○○	○○◎	●●● ◎◎◎
3年生	◎◎◎ ●●●	◎◎◎	●●● ◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎ ●●●

イ、教科部会の充実

(第2, 4水曜日に研修、日課表に位置付けた週1で交流)

- ・つきたい力をゴールに、主体的に学ぶ1時間完結型
- ・振り返りシート
- ・生徒による授業評価による改善

②目指す授業像

新大分スタンダード	東中スタンダード
<ul style="list-style-type: none">●「めあて」「課題」「まとめ」「ふりかえり」のある1時間完結型授業の実施●板書の構造化●習熟の程度に応じた指導●生徒指導の3機能を生かした授業 「自己決定」 「共感的人間関係」 「自己存在感」	<ul style="list-style-type: none">☆「めあて」「課題」を紙（短冊）に書き掲示☆「自己解決」の時間を設定（MAKE UP）☆「協同解決」の場面を設定（WITH UP）☆まとめを板書に可視化☆生徒の字が黒板に残されてある授業☆「評価」を意識した「ふり返り」（BRUSH UP）☆授業後の板書の「写真撮影」

③授業改善テーマ と 具体的な改善点

東中スタンダードに基づいた授業実践
～問題解決的な展開の授業～

授業改善の重点

- ①問題解決的な授業展開の実践(第1期～第3期)
- ②つけたい力をゴールに、主体的に学ぶ
1時間完結型授業の実践(第4期～第5期)

授業改善「第2期」の実践(取組)

取組指標 A

- ・めあて又は課題を短冊に記入し、掲示する。

取組指標 B

- ・課題に対する自分の考えを持たせた上で、交流する場を小単元に1回以上設定する。

教室に「こんな『授業』を作ろうよ」を掲示

こんな「**授 業**」を作ろうよ

1. 授業では「めあて・課題」を理解しよう
2. まず持とう 自分の意見・考えを
3. 思い・考え 伝えよう みんなで学び合おう
4. しっかり聞いてくれる 仲間たち
キミの思い・考え 広げ深め高めよう
5. 「まとめ・振り返り」で学びの成果を実感しよう

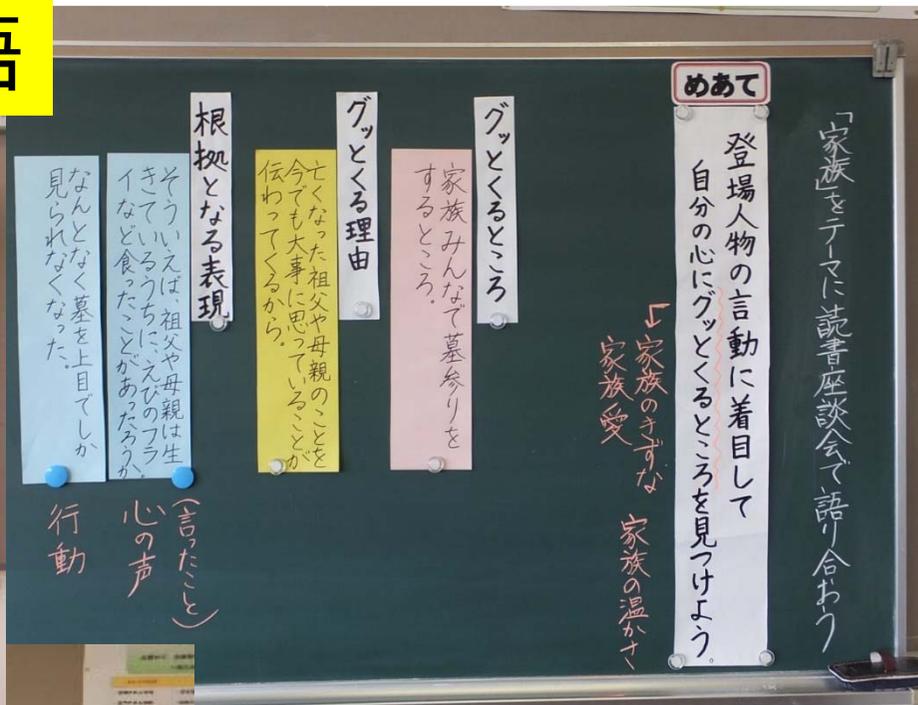
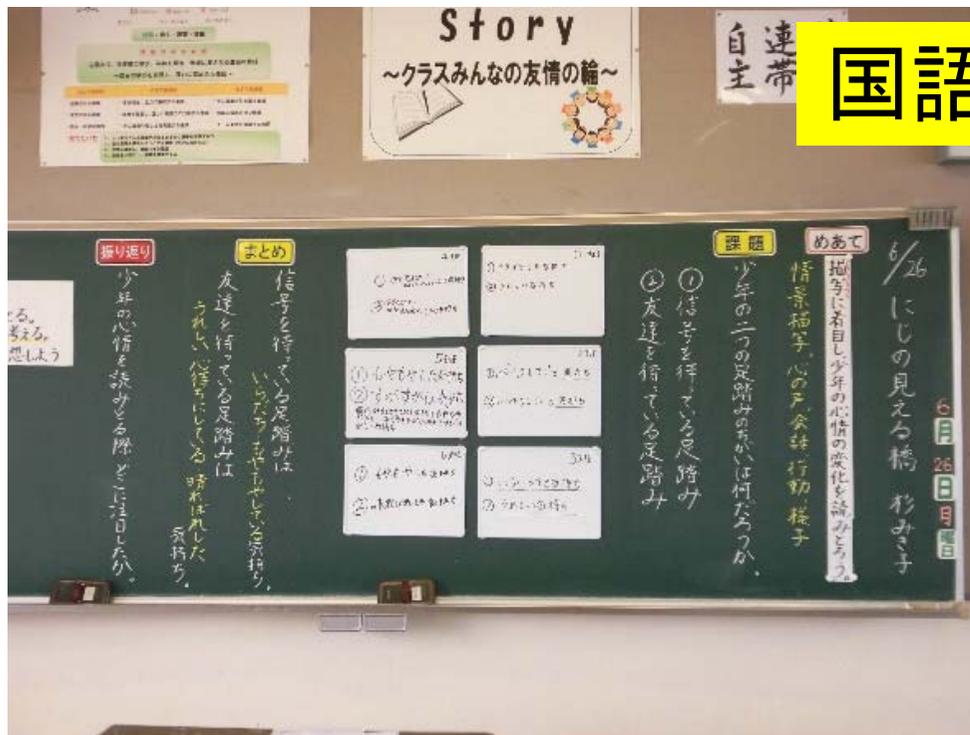
めあて 授業で学ぶ目的やゴールへの見通しを示したものの

課題 授業について何について考えていくのかを示したものの

まとめ 課題に対する答えや結論

振り返り 学んだ成果を確かめ、次の学習につなげる準備

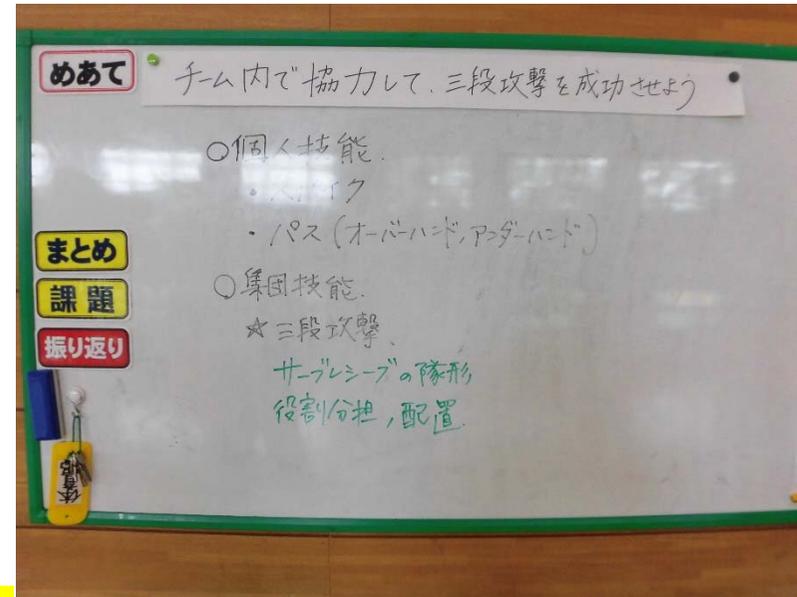
教員と生徒が、
目指す授業像を共有する。



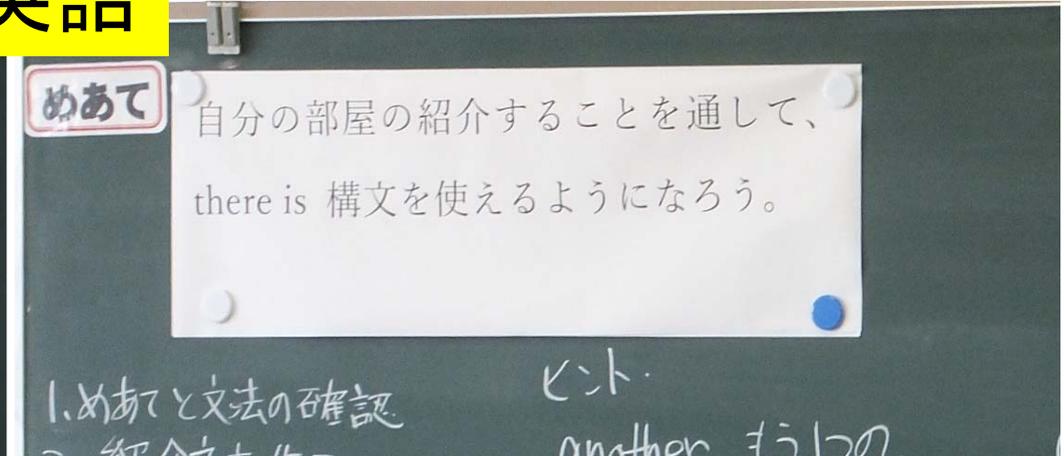
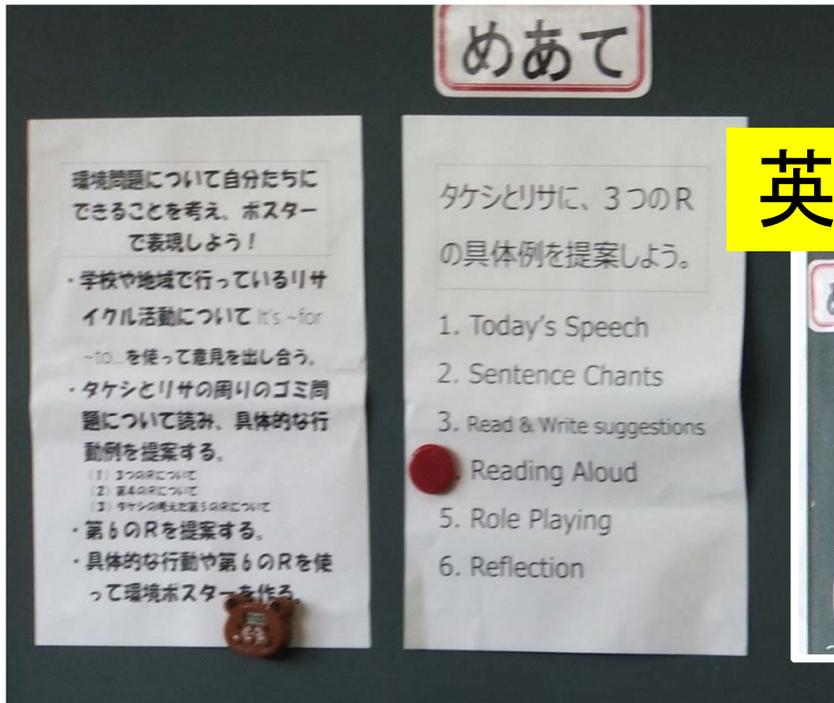
社会



体育

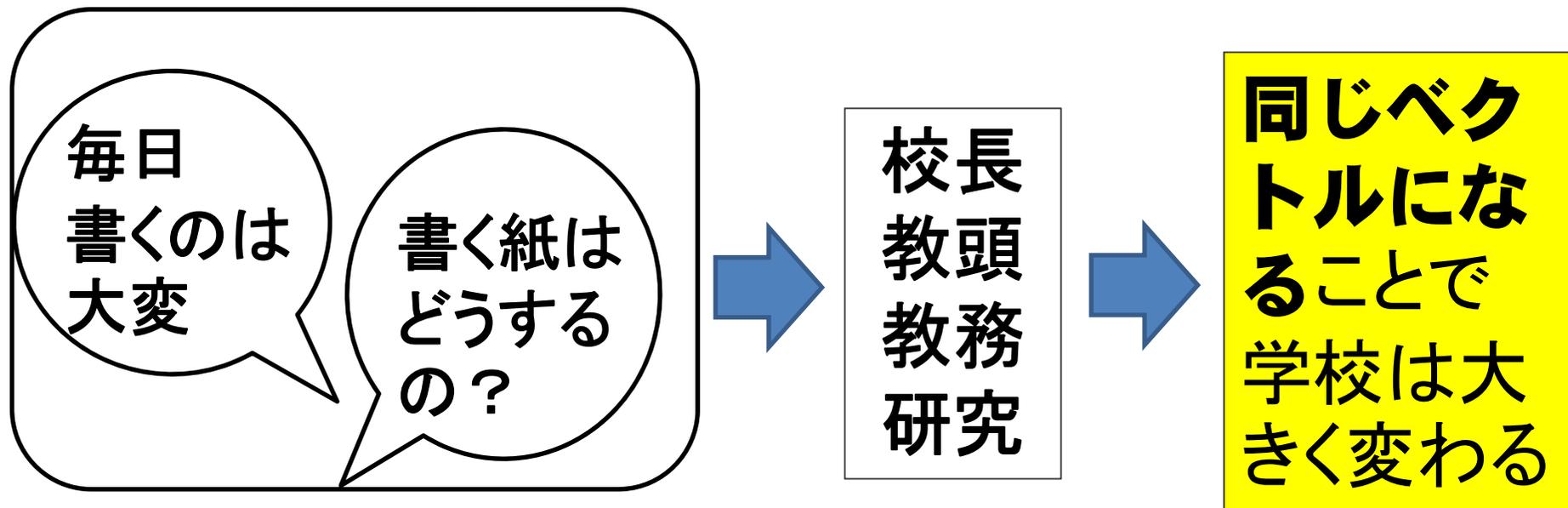


英語



なぜ「めあて」「課題」を紙（短冊）に書くか。

- ◆研究授業の時は紙に書く「先生、いつもと違うね」
- ◆研究授業では「真剣」、日々の授業は「手抜き？」
- ◆紙に書くためには事前に準備が必要
 - ⇒ 教材研究(MAKE UP)
- ◆生徒の記憶にも残りやすい ⇒ 可視化の強調
- ◆「めあて」を工夫 ⇒ 「まとめ」「ふりかえり」も工夫
- ◆まとめて掲示することで
 - 事前を示せば小単元指導計画を可視化
 - 途中で示せば小単元の進み具合を再確認可能
 - 事後を示せば小単元のまとめ
- ◆使用した短冊は教科部会で研究 (BRUSH UP)



課題は山積

毎日書くことが大変という教師には、拡大印刷機を利用してもらい、書く紙がないという教師には、**教務主任が模造紙を短冊に切って職員室にストックしておき、いつでも誰でも使えるようにしておく。**

毎日のことだけに大変なことも多いが、毎日だからこそ生徒に与える影響も大きい。教師が汗を流した分生徒は日々変化していく。**だからこそ、すべての教師が気持ちよく仕事ができることを校長をはじめ教頭、教務主任、研究主任は行動していかねばならない。教務主任という立場からこれらのことを雑務ととらえず、職員室が円滑にまわるための、東中津中学校が変化するための重要な役割と考え取り組むことにしている。**

④ 生徒による授業評価

(ア) 2月ごとに実施 → 全体会・教科部会で検証・改善

取組指標 A めあて又は課題を短冊に記入し、掲示する。

【問1】授業で、先生が「めあて」を紙に書いて掲示していますが、「めあて」はわかりやすいと感じますか。

【問2】授業の終わりに行っている「まとめ」や「振り返り」によって、その時間の学習内容を確認できていると感じますか。

取組指標 B 課題に対する自分の考えを持たせた上で、交流する場を小単元に1回以上設定する。

【問3】授業で「自分で考える場面」や「自分で考える時間」があると感じますか。

【問4】授業に「協同学習」の場面がありますが、その時に友達の考えに触れ「なるほど」と感じることはありませんか。

(イ) 重点目標の達成指標(生徒評価)も2月ごとに実施

「生徒意識調査」5月末(2月に1回) 2期取組指標A

4 十分感じる 3 だいたい 2 あまり感じない 1 まったく感じない
 90%達成 80%~90%未満 80%未満

【問1】授業で、先生が「めあて・課題」を紙で掲示し、わかりやすいと感じますか。

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽
4	58.9	56.3	71.9	60.6	50.2	27.3
3	31.2	33.8	26.0	31.2	30.3	19.0
2	6.9	7.8	1.7	6.9	7.4	3.5
1	2.6	0.9	0.4	0.4	2.6	3.5
してない	0.4	1.3	0.0	0.9	9.5	48.5

生徒意識調査の結果を一人一人の教師がどう受け止め、今後の指導に生かすか。

【問2】授業の「まとめ・振り返り」で、学習内容が確認できているかと感じますか。

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	51.5	49.8	64.1	56.7	45.5	21.6	39.8	25.9	27.5
3	28.1	27.3	29.0	29.9	26.4	16.9	31.6	25.9	25.8
2	11.7	14.7	5.2	8.7	16.5	9.1	8.7	11.8	8.3
1	3.5	2.6	1.3	2.6	2.6	1.7	1.7	2.7	3.1
してない	5.2	5.6	0.4	2.2	9.1	50.6	18.2	33.6	35.4

「生徒意識調査」5月末(2月に1回)2期取組指標B

4 十分できる 3 だいたい 2 あまりできない 1 まったくできない
 80%達成 70%~80%未満 70%未満

【問3】授業で「自分で考える場面」「自分で考える時間」があるか

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	69.6	41.3	82.2	62.0	60.3	33.3	45.8	54.5	53.6
3	19.6	27.8	15.7	28.4	26.2	28.9	35.1	31.0	30.2
2	8.3	24.8	1.7	8.7	11.4	21.3	11.6	8.5	9.9
1	2.6	6.1	0.4	0.9	2.2	16.4	7.6	6.1	6.3

【問4】「協同学習」の場面があり、「なるほど」と感じますか。

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	60.2	37.2	76.6	60.6	54.3	22.5	22.5	22.5	22.5
3	22.5	19.5	18.6	28.1	26.1	22.5	22.5	22.5	22.5
2	11.3	16.5	3.9	8.7	12.6	22.5	22.5	22.5	22.5
1	0.4	2.6	0.0	0.4	3.5	22.5	22.5	22.5	22.5
ない	5.6	24.2	0.9	2.2	3.5	32.5	22.5	22.5	22.5

教務主任や研究主任がどう関わっていくかが今後の課題

「授業改善について教員アンケート」(5月末)

【問 1】授業で、めあて・課題は短冊に記入し掲示しているか。

4	ほぼ100%できている。	8人
3	実施率75%以上90%未満	2人
2	実施率50%以上75%未満	5人
1	実施率50%未満	2人

【問 2】自分の考えを持たせるような課題の工夫を行っているか。

3	ほぼ毎日行っている。	4人
2	小単元に1回は工夫した課題を出している。	9人
1	あまり工夫ができていないと感じる。	4人

【問 3】授業では、考えを交流する場を設定しているか。

3	ほぼ毎日行っている。	7人
2	半分ぐらいは行えている。	5人
1	小単元に1回は行っている。	5人

「4点セット(学習指導)の達成指標」(5月末)

目標を達成できている

達成まであと少し(10%未満)

【問5】授業では、楽しく学ぶことができていると感じますか80%以上

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	29.0	31.3	55.8	40.9	42.0	39.8			44.5
3	45.5	40.0	32.0	43.5	34.6	40.3			41.1
2	21.2	23.0	9.5	13.9	17.7	11.5			16.6
1	4.3	5.7	2.6	1.7	5.6	3.5	0.9	5.0	4.8

5.0~6.0は、
クラスで1~2名

【問6】授業の内容は理解できていますか。70%以上

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	40.3	26.4	46.3	38.1	42.9	50.0			41.1
3	42.0	40.7	40.3	44.2	32.5	27.4			38.7
2	15.6	22.1	10.4	15.6	12.6	17.0	6.5	11.1	10.3
1	2.2	10.8	3.0	2.2	12.1	5.7	1.3	3.7	4.0

10~12では、
クラスに3名も

「生徒意識調査」1学期末 2期取組指標A

4 十分感じる 3 だいたい 2 あまり感じない 1 まったく感じない
 90%達成 80%~90%未満 80%未満

【問1】授業で、先生が「めあて・課題」を紙で掲示し、わかりやすいと感じますか。

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	59.6	49.1	68.7	↑59.1	↑47.8	23.0	55.2	↑32.2	↑31.9
3	31.7	42.2	28.7	34.8	37.4	22.6	37.4	42.6	38.9
2	7.8	8.3	2.6	3.0	11.7	5.9	8.1	2.9	2.2
1	0.9	0.4	0.0	3.0	1.3	1.5	0.1	2.0	2.2
してない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	47.4	3.5	17.0	23.6

5教科では完全実施

前回(5月末)の調査結果

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	58.9	56.3	71.9	60.6	50.2	27.3	63.2	34.1	34.6
3	31.2	33.8	26.0	31.2	30.3	19.0	27.7	30.9	28.1
2	6.9	7.8	1.7	6.9	7.4	3.5	4.3	5.5	7.0
1	2.6	0.9	0.4	0.4	2.6	1.7	0.4	0.9	0.9
してない	0.4	1.3	0.0	0.9	9.5	48.5	4.3	28.6	29.4

「生徒意識調査」1学期末 2期取組指標A

4 十分できる 3 だいたい 2 あまりできない 1 まったくできない
 80%達成 70%~80%未満 70%未満

【問4】「協同学習」の場面があり、「なるほど」と感じますか。

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	↑58.3	↑31.7	70.4	↑54.3	↑48.7	23.6	↑40.2	↑40.6	↑36.4
3	34.3	40.4	26.1	41.7	37.8	31.0	42.8	43.2	43.0
2	3.9	16.1	3.0	2.6	11.7				1.1
1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0				0.3
ない	3.0	11.3	0.4	0.9	0.9	31.4	10.0	5.7	9.2

2か月で半分に

前回(5月末)の調査結果

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	60.2	37.2	76.6	60.6	54.3	25.9	48.9	41.5	42.0
3	22.5	19.5	18.6	28.1	26.1	25.9	24.5	31.3	31.4
2	11.3	16.5	3.9	8.7	12.6	12.7	6.6	12.9	9.3
1	0.4	2.6	0.0	0.4	3.5	3.1	3.9	1.4	2.7
ない	5.6	24.2	0.9	2.2	3.5	32.5	16.2	12.9	14.6

「4点セット(学習指導)の達成指標」(1学期末)

達成指標を達成できている 達成まであと少し(10%未満)

(1)授業では、楽しく学ぶことができていると感じますか 80%以上

4 十分感じる 3 だいたい感じる 2 あまり感じない 1 まったく感じない

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	↑ 27.0	↑ 26.1	37.0	36.1	34.8	↑ 36.5	59.6	16.5	↑ 24.0
3	52.2	50.9	49.1	50.0	42.6	47.0	34.8	57.8	57.6
2	19.6	20.0	「まったく感じない」が2か月で半分に						
1	1.3	3.0	1.3	1.3	4.3	1.7	0.9	2.6	1.3

5月末の調査結果

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	29.0	31.3	55.8	40.9	42.0	39.8	73.6	27.4	34.5
3	45.5	40.0	32.0	43.5	34.6	40.3	21.2	47.5	44.1
2	21.2	23.0	9.5	13.9	17.7	16.5	4.3	20.1	16.6
1	4.3	5.7	2.6	1.7	5.6	3.5	0.9	5.0	4.8

「4点セット(学習指導)の達成指標」(1学期末)

達成指標を達成できている

達成まであと少し(10%未満)

(2) 授業の内容は理解できていますか。70%以上



4 十分理解 3 だいたい理解 2 半分ほど理解 1 理解できない

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	41.4	29.7	37.4	38.7	38.7	46.4	51.4	40.2	42.2
3	45.5	42.3	44.6	46.8	36.5	34.7	39.2	44.7	43.1
「全教科」 達成指標を達成				3.5	16.2	15.8	9.0	13.7	12.8
1	2.3	4.1	2.7	0.9	8.6	3.2	0.5	1.4	1.8

「理解できない」も、ほぼ全教科で減少

5月末の調査結果

集計	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	体育	道徳	総合
4	40.3	26.4	46.3	38.1	42.9	50.0	64.9	46.5	46.4
3	42.0	40.7	40.3	44.2	32.5	27.4	27.3	37.7	39.3
2	15.6	22.1	10.4	15.6	12.6	17.0	6.5	12.1	10.3
1	2.2	10.8	3.0	2.2	12.1	5.7	1.3	3.7	4.0

(4) 授業改善の組織的な取組 2

① 教科部会の交流

教科別実践発表会 8/16(水) 9:00~12:00

- 1, 教科部会ごとに実践発表(質疑を含め20分)
 - ・東中スタンダードの実現に向けて、各教科で具体的にどのような取組を行ったか。
 - ・各教科の生徒による授業アンケート結果より、今後どのような点を改善していくか。
- 2, 教科部会で討議
 - ・参考にしたい他教科の取組
 - ・2学期の方向性
- 3, 講評(事務所指導主事)



課題 11で割り切れること文字式で説明するのはできるか

問題 解決のための基礎知識
 十の位の数を a 、一の位の数を b とすると
 2けたの数は $10a+b$ で表すことができる。

5班
 $(10a+b) + (10b+a)$ 2けたの数
 $= 10a + 11b + 10b + a$
 $= 11(a+b)$
 A $11(a+b)$

7班
 $(10a+b) + (10b+a) = 11a + 11b$
 $= 11(a+b)$
 a と b は 1~9 の整数である。
 $11 \times$ 整数は 11 の倍数
 (なるの? 11 でわりきれ)

4班
 $54 = 50 + 4$
 $= 10 \times 5 + 1 \times 4$
 十の位の数字 一の位の数字

6班
 $10(10a+b) + (10b+a)$
 $= 100a + 10b + 10b + a$
 $= 101a + 20b$
 110 の倍数

まとめ
 $10a+b$ を用いて計算した結果
 $11(a+b)$ の形になる

1班
 $\frac{11n}{n}$
 整数 $\times 11$
 (n)
 11 を付けたら 11 の倍数になる

3班
 $(10 \times a + 10b) + (10b + a)$
 $= 10(a+b) + 1(b+a)$
 $= 11(a+b)$
 $43 \div 11 = 3 \dots 10$
 $(10 \times 4 + 1 \times 3) + (10 \times 3 + 1 \times 4)$
 $= 10(4+3) + 1(4+3)$
 $= 11(4+3) = 77$

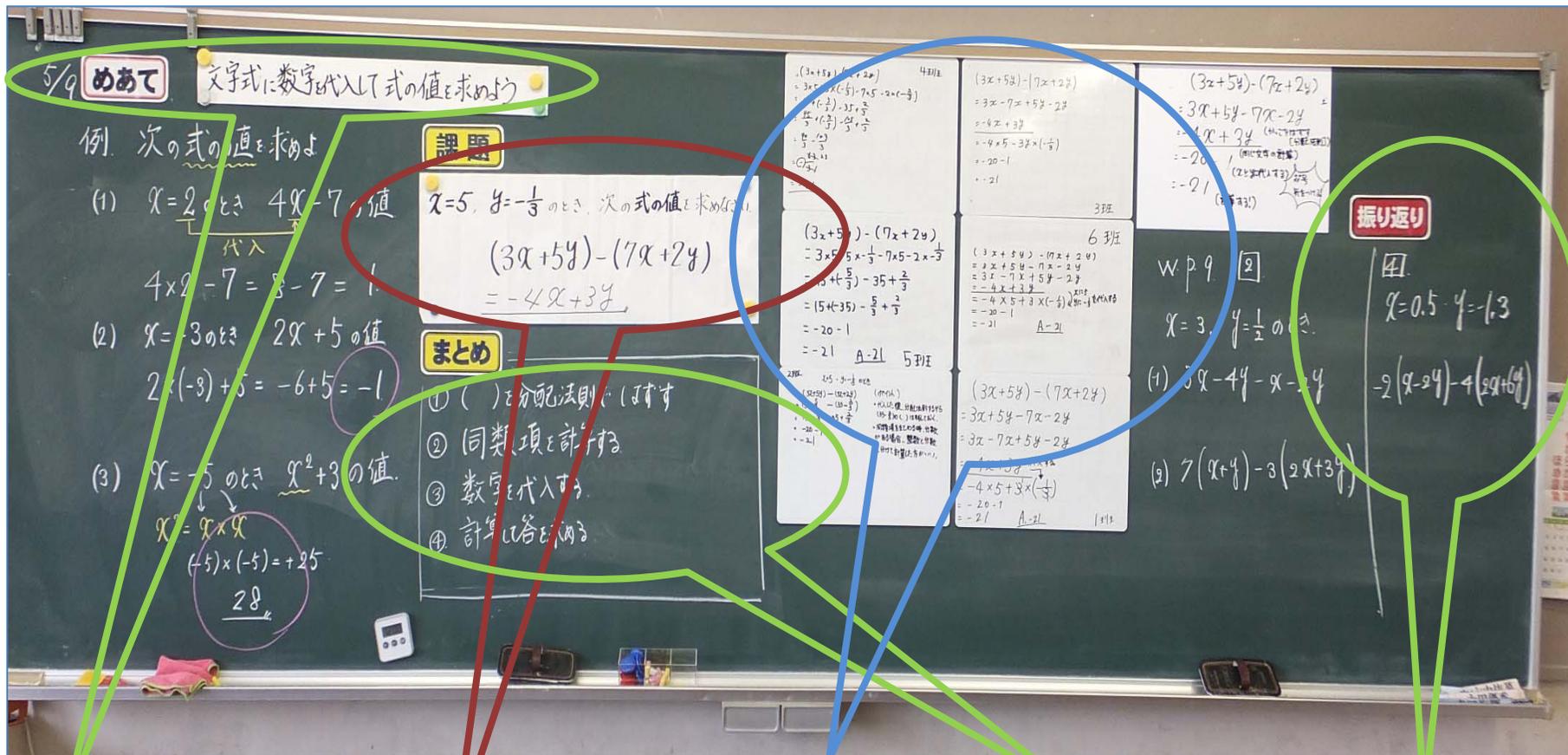
2班
 $(10a+b) + (10b+a)$
 $= 10a + b + 10b + a$
 $= 11a + 11b$
 $= 11(a+b) \div 11$
 $= a+b$

十の位の数と一の位の数を入れ替えると、
 もとの数は $10a+b$ 、入れ替えた数は $10b+a$ になります。
 2つの数を足すと、 $(10a+b) + (10b+a)$ になり、
 これを計算すると、 $11a + 11b$ になります。
 これを 11 でまとめると、 $11(a+b)$ になります。
 $a+b$ は整数になり、それに 11 をかけているので、
 11 でわりきれ数になります。



- 課題に対して自分の考えを持ち、それを班で交流する
- 班でまとめたことはホワイトボードに記入し黒板に掲示
- それをみんなで見合いながら、どの説明がわかりやすいかを話し合う

数学(東中スタンダード)



○「めあて」は1時間を見通せるものとなっていたか

○「課題」は興味関心を持ち、思考を進められるものであったか

○生徒の字が黒板に残っているか

○「まとめ」は生徒の言葉になっていたか

○振り返り問題は、その時間の学びを確認できるものであったか

国語(生徒アンケートの分析→授業改善)

3.72	3.69	3.48	3.41	3.10	3.38	3.55	3.03	2.97	3.41
単元計画表	めあて	見通し	振り返りの視点	自分の考え	交流	1時間完結	次の意欲	テスト勉強	学びの実感

①ゴールに向かってどのように学習を進めていくのかという「単元の学習計画表」については、わかりやすい、続けて欲しいという意見が多数であった。

②授業中に前向きに頑張っている生徒であっても、「学習したことが次の勉強の意欲(もっとこんなことをしたい・考えてみたい・次にこれをしておきたい)につながった」と自覚する生徒が少ない現状。

「振り返り」が自分の学びを自覚するものになり、次の学習へのモチベーションへとつながるものになるための手立てを考えていく必要がある。

③「テストに向けてどのように勉強すればよいかわかった」という設問に対するポイントが低かった。教科書教材とは別の文章を用いた評価問題や、定着に向けた練習問題を配付しても、それが社会の様々な場面で生きる力になっているという意識がない。

「テスト勉強＝ワークを解いて答えを覚える」という考えから抜け出せていない。

学習計画表

に挑戦しよう-聞き手を想定し魅力的な紹介をする-

時間数	日時	学習内容
1時間目	6月12日	ビブリオバトルの方法と、目的をつかむ。
2時間目	6月13日	多様な方法で、本の紹介に必要な材料を集める。
3時間目	6月14日	材料を整理して、話の構成を考える。
準備期間		
4時間目	6月26日	ビブリオバトル[予選] 班のチャンプ本を決める。
5時間目	7月4日	ビブリオバトル[決勝] クラスのチャンプ本を決める。

(5) 1学期の取組から

教科部会で自分の授業の見直しができ、先輩のアドバイ스가ありがたかった。
(新採用の教員より)

成果

- ・教科内で連携・情報交換、教科部会で教材研究・指導法の改善。
- ・教科別実践発表会で1学期の総括、2学期の取組が明確に。
(参考にしたい他教科の取組)

国語: 学習計画表、ルーブリック

数学: 学びを振り返る板書

社会: 絵・写真から考える、ほめるノート点検

理科: 見えないものはモデル化

英語: 生活で使える英語

保体: できると分かるを身につける

①日々の授業と校内研(授業改善)のリンク

②同じベクトルで進む(教科部会→同僚性→成果)

課題

- ・設定させたものの以外は、教科部会はできない。(場・時間)
- ・評価についての研修が不十分。(ベクトルと質)

(6) 2学期の授業改善プラン

授業改善プラン「第4期」

→ 教員の一人一人の
指導力向上のために。

取組指標A

・1ヶ月を単位に「授業計画シート」を作成し、学習指導部に提出。授業後に「検証シート」を作成し、提出と共に、教科部会で分析し、全体研修で協議する。

取組指標B

・ルーブリックに基づいた生徒の自己評価を10月末までに1回実施。
(できる教科のみ)
・生徒自身に評価規準に対する評価基準を自己設定させる。

授業改善の重点

①問題解決的な授業展開の実践(第1期～第3期)

②つけたたい力をゴールに、主体的に学ぶ

1時間完結型授業の実践(第4期～第5期)

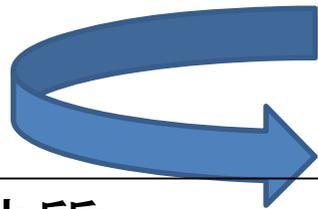
授業計画シート (8月23日) 記入

教科 3年英語 授業者 ○○○○ 授業予定日 9月5日

単元名 電話で英語の伝言を聞き取ろう

単元(1時間)のゴール姿

電話のやりとりの特有な表現を使って伝言を伝え、聞き手は正確・簡潔にメモを作成することができる。



教材の特質

電話で伝言を残す時に使用される特有の表現

- leave a message
- call me back
- take a message



言語活動(考えの表出)

ペアでのロールプレイにより、電話で伝言をやりとりする。伝言メモを作成する。

授業検証シート (9月13日) 記入

教科 3年英語 授業者 ○○○○ 授業日 9月5日

単元名 電話で英語の伝言を聞き取ろう

単元(1時間)の授業で見られた具体的な子どもの姿

- ・やりとりにつまった時、補助プリントを見てふさわしい単語を選ぶ姿が見られた。
- ・「この表現の方がより伝わる」とアドバイスする姿が見られた。

評価方法

- ・特有の表現を使って電話のやりとりをしている(観察)
- ・正確、簡潔にメモをとれるか(成果物)

評価規準

- ・聞き返したり、確認しながら、正確に情報をやりとりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・用件を正確、簡潔に伝えたり、聞き取ってメモを残したりできる。(表現の能力)

(7) 2学期の研修・体制

研修

「場と時間の確保」、「ベクトルと質」

- ・ 8/23(水) 全体会15分(第4期の提案) 教科部会45分(計画シート①作成)
- ・ 8/30(水) 教科部会30分(①略式指導案作成)
- ・ 9/13(水) 教科部会40分(検証シート①)
- ・ 9/27(水) 全体会15分(取組①の総括) 教科部会45分(計画シート②作成)
- ・ 10/11(水) 全体会15分(公開研10/27) 教科部会(公開授業略式指導案作成)
- ・ 10/25(水) 全体会15分(10/27提案) 教科部会(検証シート②作成)
- ・ 10/27(金) 第2回自主公開授業研究会(3限全学級公開、5限提案授業、研究会)

東中スタンダードの質の向上のため、教師一人一人の指導力向上。

体制

来年度の研修体制のため

- ・教務主任(2年目)と次期教務主任候補(1年目)で、運営委員会を企画・運営
- ・研究主任(3年目)と次期研究主任候補(1年目)で、研究内容・方針の提案

研修システムの維持・向上のため。

(8) 取組を進めるために

教頭の役割

- ・主任による進行管理の状況把握、ビジョンを持つ。
- ・教務主任・研究主任の提案で、
動かない組織・人に、適切な指導・助言を行う。

- ミドルリーダーたる主任の活用
 - ①主任にミッションを与え、適切に評価する。
 - ②指導・助言と支援
 - 教頭・教務会議(毎週月曜日3限、水曜日3限)
 - 教頭・研究会議(毎週木曜日3限)
- 評価やアンケートで、成果の確認・共有。
(次につなげるエネルギー、教員の変容)
- 保護者や地域への発信と連携

10/27(金) 東中津中学校 第2回自主公開授業研究会

公開授業(全学級)

- ・ 3限 10:40~11:30

学年	1年			2年			3年		
学級	1組	2組	3組	1組	2組	3組	1組	2組	3組
教科	英語	保体	理科	英語	数学	社会	理科	数学	国語
授業者	江渕	日隈	穴井	葛原	河野	金丸光	中野	小野	金丸公

提案授業

- ・ 5限 13:40~14:30
授業者 矢野真梨奈教諭 1年2組、国語

見所(8/23研修での研究主任の提案より)

授業者は子どもにどのような評価規準を示したか、子どもはどのような自己評価を行い、自らの学びを振り返ったか、そのようなことが各教科で発表できるよう研修を進めます。